

ふたかみ NEWS プチトマト

初詣



各事業所、班ごとに初詣をしました！



ハピバールのお正月行事

例年は地域の方にもご参加頂いてましたがコロナ禍になってからはハピバールの仲間職員のみで開催しています。仲間たちは毎年の経験で培った力強い餅つきを見せてくれました。毎年恒例の書初めもし、『お仕事がんばる！』『阪神優勝！』など各々の目標や好きな事を書き皆で発表し合いました。近くの日吉神社へも歩いて初詣に行き、新年の抱負をお願いしてきました。今年も一年頑張ります！（向山）



このまちで暮らしたい
「障害者生活耕房」（グループホーム）
ー建設募金のお願いー
2022年6月openしました！！
新しい暮らしを支える拠点として…
建設募金へのご協力よろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店（ゼロキユウキユウ店） 【口座番号】0225417

■後援会入会及び更新の方々（敬称略）

【2022年12月】

- ・大伴改太 渡辺博子 以上4口
- ・石田陽喜 以上2口
- ・山本富子 佐野亮一 佐野豊 竹内真由美 熊野照司 大西理恵子 梅田明 高瀬美代子 以上1口

■寄附 大阪友の会 様

■ボランティア 垣内秀夫様

■アルミ缶回収（12月分） 1,380 kg

ありがとうございました

◆2022年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894



カフェハピバール

2月の予定

定休日 毎週水曜／日曜

休み 11日（土・祝）
18日（土）
25日（土）

*23日（木・祝）は営業しています

★Instagram★

⇒ cafe-hapibar.com



お問い合わせ先

072-958-3232

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



法人研修

「障害者虐待防止、

権利擁護」を考える

新年明けて直ぐの1月7日にふたかみ福祉会の法人研修がありました。今回NPO法人大阪障害者センター理事長の井上泰司氏を講師にお迎えして障害者虐待防止と権利擁護についての講義を受けました。いずれの問題は福祉事業所で働く人間にとって避けて通れないものです。

自分も日々の支援場面に当てはめて考えさせられる問題が多くありました。利用される方を中心に据えた支援を考える中で、大事にしたい視点として「なぜこの人はこの事業所に来ているのか」を把握しようと努めることだと井上氏が話されていました。その人なりの必要性があるから通っているのであって、それは必ずしも工賃(給料)をもらうことだけではないという点を踏まえなければなりません。日中活動事業所、特に就労継続型の事業所については活動目的は明確で、生産活動に従事して可能であれば高い給料を得ることが大きいと思います。ただ、そこに通う利用者自身が本当にそれを納得している(理解し

ているのかどうかは別の問題です。日々の活動の中で仕事をしにくい人、仕事の指示が入りづらい人が居た場合、その人は本当は何を求めているのかを支援者が把握していなければなりません。その上で適切な支援がその方に対して行われているのかを評価していく必要があります。

利用者の方に共通しているのはその事業所に「今日」の用事がある「こと」と井上氏は仰っており、「今日用(きょうよう)教育」を行うことが大切だと強調されていました。そういった教育が職員にも、利用者にもそれぞれの水準で行われれば、職員にとってはニーズの実相をとらえた支援が、利用者にとっては目的性を強く持った通所が実現するものと思われました。

(東)



法人研修

「かがやく命を大切にすることは社会をつくりまします」

1月7日法人研修にて、法人理念について皆で話し合いました。現在の理念は、1996年社会福祉法人ふたかみ福祉会設立以来の願いを受けて、2011年に理事会で承認され、現在に至っています。

研修においては、小グループに分かれ各自の想いを分かち合うことから、法人理念にかけられた願いや方向について、意見交換をしました。

「かがやく命」は、抽象的な様々な解釈ができる言葉ですが、ふたかみ福祉会で障害福祉に関わる私たちにとっての「かがやく命」とは何なのかを出し合いました。

日々の仲間との関わりの中で、相手を尊重する気持ち関係性、具体的な行動の中で仲間はすでに輝きを放っている。職員自身は、今の仲間の姿の中に輝く命をすでに見つけている事を確認できました。この命の輝きを未来につなげ、ありのままの姿のまま社会に発信する事が、職員の役目である事へと話が繋がっていきましました。

祝 成人の集い

はびきの園では今年度一名の仲間が二十歳を迎え、1月9日の開所日において成人式を実施しました。最初は緊張していましたが一日の活動が始まると他のなかまたちの様子を見ながらニコニコと笑顔を見せ、「何するの?」「楽しみやなー」と昼からの式本番を期待するような会話もたくさん。式本番では職員と共に選んださやこーぱみゅぱみゅの「ふりそでーしょん」の歌に合わせて登場。周りの仲間たちからの拍手に照れ笑いを浮かべながらの入場となりました。

施設長、所属班からのお祝いの言葉、手紙にてご協力をいただいたいた家族からのお祝いのメッセージを読み上げると会場内には目頭を赤くさせるなかまも、式の終盤にはご本人の希望でダンスの時間も!終始温かい雰囲気で成人式を実施することが出来ました。成人式を終えたなかまは少しばかり誇らしげな表情を見せていました。(植田)

ヒューマンウェーブ

コロナ禍で地域の中に出ていき、繋がりを作っていく事が難しい中で、それでも地域と繋がる事が必要であると話合われました。地域の人の具体的な交流の中でこそ相互理解は深まり、仲間のかがやく姿を発見してもらえます。さらには、地域の課題を見つけ、ともに変革する力をつけることが、社会福祉法人で働く私たちに課せられた役割でもあると思います。又、地域で安心して生活するために制度の充実や社会資源の開発も必要です。地域の中で私たちが貢献できることも見つけていかなければならないと思います。

(渡辺)

コロナウイルスの影響により、なかなかヒューマンウェーブに参加できない中、今年はリモートで参加することができました。手話通訳の方がいたので、耳が聞こえにくいなかまも楽しく参加することができました。話の場では、コロナウイルスの事やガイドヘルパーの不足、65歳問題といった内容まで、みなさんがそれぞれ抱えている不安を発表してもらいました。こういったなかまの生の声を聞ける機会は中々ないので、職員やなかま共々いい経験になりました。来年は、みんなで集まって活動できると良いですね!

(阪本)



署名学習会

今年の署名学習会は、自宅で1人で受けるのではなく、はびきの園で署名担当を中心に集まって参加しました。

1人で参加するよりも集中でき、終わった後もその場で感想などを言う時間があり、共有出来て良かったです。

私自身は署名の担当が2年目になるのですが、新しく知った事や活動していく事のやり方などを今回も新しく知ることが出来ました。

署名の請願項目に順番があり優先度がある事、きょうされんの歴史などの話を聞くことができていて、優生保護法の話を知っていて、当たり前な事が当たり前前に認められない世の中だと思いました。裁判がおこなわれていますが、被害者の全体の数パーセントしか裁判も行われておらず、裁判する事ができない人や、裁判が出来る事、その手段すらも分からない人も数多くおられるとの事でした。私自身、この仕事に就いていなければ知らなかったと思われるし、今まではあまり関心がなかったと思

います。ですが、この仕事に就きこの活動に参加できるようになり、すぐに何か変わる事ではないかもしれないけれど、少しずつの積み重ねが社会を変えていける、変えるための運動になっていると思うと、1人でも多くの人にまず知ってもらう事が大事だと思いました。

学習会の中で、署名活動など「1人にならない、1人でしない」という話が印象に残っています。部署に1人担当がいる今の状態で1人になっていませんか?という話でした。自分が今いる環境では、周りの職員が助けてくれる事や、分からない事がある場合聞いたら教えて貰える環境にいるが、1人であるとなると難しい事だと思うしやる気も出ないと思います。そんなことがないように、声をかけあって活動していきたいなあと思います。署名活動の1つ1つを理解するのは難しいですが、自分が理解している事を自分の言葉で伝えていき、少しでも社会が変わればと思います。

(松田)